



埼玉の生協 2020



埼玉県生活協同組合連合会の概要 ————— 1

埼玉県生活協同組合連合会と会員生協の取り組み — 2-4

会員生協・準会員生協の紹介 ————— 5-6

協同組合について・コープSDGs行動宣言 ————— 7

誰ひとり取り残さない社会をめざして 安心してくらせる地域社会づくりに 取り組んでいきます



埼玉県生活協同組合連合会
会長理事 吉川 尚彦

ごあいさつ

埼玉県生活協同組合連合会は、1972年に埼玉県内の協同組合によって、よりよいくらしを実現していくために設立されました。現在、地域生協、医療生協、大学生協、住宅・共済・保育・連合会等15生協が各生協の事業発展と活動の交流、共通する課題で協同の取り組みを行っています。

近年頻発する自然災害への備えや支援、また少子高齢化が進む中で、誰もが住み慣れたまちで安心してくらせる地域社会づくりに取り組むなど、私たち埼玉県の生活協同組合は、持続可能な開発目標(SDGs)の理念である「誰一人取り残さない」社会の実現をめざして、これからも行政や地域の諸団体とのネットワークを大切にしながら、協力・協同の関係を築き、組合員や県民が安心してくらせるよう取り組んでまいります。

埼玉県生活協同組合連合会の概要（2020年7月現在）

組織概要

会員生協	15生協(地域生協3、医療生協1、各種生協5、大学生協5、連合会1)、準会員生協1
会員組合員数	224万人(コープデリ連合会除く) 2020年3月末現在
会員事業高	1,794億円(埼玉労済生協・コープデリ連合会除く) 2019年度末現在
その他	埼玉県消費者団体連絡会事務局 適格消費者団体 特定適格消費者団体 特定非営利活動法人 埼玉消費者被害をなくす会事務局

役員

会長理事	吉川 尚彦(員外・常勤 専務理事兼務)
常務理事	大久保 美紀(員外)
常務理事	齊藤 民紀(医療生協さいたま生活協同組合 専務理事)
常務理事	横山 博志(生活協同組合パルシステム埼玉 専務理事)
常務理事	大山 克己(生活協同組合コープみらい 常務執行役員)
理事	境 由華(生活協同組合コープみらい 理事)
理事	長妻 さよ子(生活協同組合パルシステム埼玉 理事)
理事	木下 美由紀(生活クラブ生活協同組合 理事長)
理事	須長 雅和(生活クラブ生活協同組合 専務理事)
理事	丸山 久美子(医療生協さいたま生活協同組合 常務理事)
理事	柳川 聰一(埼玉県勤労者生活協同組合 専務理事)
理事	和田 潤(埼玉県労働者共済生活協同組合 専務理事)
理事	後藤 晴雄(さいたま住宅生活協同組合 理事長)
理事	吉田 弘一(生活協同組合・さいたま高齢協 理事)
理事	河本 健太郎(埼玉大学生活協同組合 専務理事)
理事	土屋 敏夫(コープデリ生活協同組合連合会 理事長)
監事	高藤 美和子(医療生協さいたま生活協同組合 常勤監事)
監事	奥野 友佳子(生活協同組合パルシステム埼玉 監事)
監事	佐々木 智博(生活協同組合コープみらい 監事)

会員生協概況

埼玉県では、
全世帯の
約70%が
生活協同組合を利用しています。

**224万
世帯**
**全318万
世帯**

区分	組合員数(人)	組織率(%)
地域生協	1,344,842	42.2
医療生協	231,638	7.3
大学・住宅他	111,588	3.5
埼玉労済生協	557,199	17.5
合計	2,245,267	70.5

コープデリ連合会除く

埼玉県生活協同組合連合会と会員生協の取り組み



行政との連携

◆九都県市合同防災訓練、図上訓練への参加



埼玉県との災害時における基本協定に基づき、合同防災訓練に参加しています。8月31日和光市で開催された防災訓練では、会員生協とともに防災フェアに参加し、防災クイズ、応急生活物資配布訓練（飲料・お菓子・ウェットティッシュ）、握力チェックなどを行いました。また、1月に県庁で開催された図上訓練に参加し、災害時の生協連の役割について再認識しました。

◆埼玉県との定期協議 各種審議会等への委員派遣



定期協議を2回開催し、「2020年度埼玉県予算編成ならびに行政執行に関する要望」を提出したほか、災害対策や消費者被害防止をはじめ、地域での見守りや消費者教育について意見交換を行いました。埼玉県からの各種審議会や協議会等への委員派遣に協力し、生協・消費者団体としての意見を伝えています。

自治体との協定締結

●包括連携協定

コープみらいと
埼玉県・さいたま市
パルシステム埼玉と
埼玉県が締結

●地域見守り協定

コープみらい全63自治体
パルシステム埼玉54自治体
生活クラブ生協28自治体
医療生協さいたま35自治体と締結

●災害時協定

コープみらい34自治体
パルシステム埼玉3自治体
埼玉県生協連は埼玉県と
締結

自治体と連携した取り組み

高齢者サロン、認知症
カフェ、地域子育て支援
拠点、イベント支援など、
のべ17件を連携して実施

自治体の審議会や 協議会への参加

3生協が7自治体の9つの会議体に参加。
地域包括ケアシステムに関する地域協議会には、5自治体で第1層協議会に参加。第2層・
第3層協議会は8自治体11協議会に参加。



協同組合員間連携・協同

◆彩の国食と農林業 ドリームフェスタに出展



県生協連と会員生協がブース出展し、SDGsをテーマにスタンプラリーで連携、多くの参加者にお楽しみいただきました。また、運営に参加しているフードバンク埼玉の出展にも協力しました。

◆JA埼玉県女性組織協議会と 会員生協組合員との早春交流会



協同組合間交流を目的に、「早春交流会」を開催しました。女性の視点での防災・減災をテーマに学習とグループワークでの意見交換で、交流を深めました。

◆体験稻刈り& 田んぼの生きもの調査



JA全農さいたまと共に、杉戸町で生協組合員など16家族56人が参加しました。生産者の指導のもと、稻刈り体験や田んぼの生きもの調査を行いました。





諸団体との連携・協働

安心してくらせる地域社会づくり・ 生活困窮者支援



◆子どもの貧困と居場所づくりの現状



第1回組合員学習会では、子どもの貧困や生活困窮者への支援、地域コミュニティづくりや見守り、多世代が集まる場づくりなどについて、各生協と県内で活動する団体や埼玉県の取り組みなどを学び、交流しました。

各生協での子ども食堂
やフードパンtryへの
協力など地域連携が
さらに進んでいます。

子ども食堂や多世代の 居場所づくりへの関わり

県内 33カ所の子ども食堂や
多世代食堂に関わりサポート

◆フードバンク埼玉への 参加



NPO法人フードバンク埼玉の一員として運営に参加、また4会員生協がフードドライブに日常的に取り組んでいます。

フードドライブの取り組み

4生協で
フードドライブ常設力所数 31カ所
イベントなどでの実施個所数 23カ所
年間のフードドライブ重量 3,306Kg

◆助け合い活動



組合員どうしの生協での助け合い活動には、4生協で取り組んでおり、高齢者や子育て支援などの依頼がありました。

助け合い活動

4生協が県内全域で年間 32,285時間活動。うち、高齢者の支援 20,516時間、子育て支援 7,549時間、その他の支援 4,220時間。高齢者の支援、特に家事援助に関する依頼が増加している。

消費者力アップ



◆消費者被害防止のとりくみ



埼玉消費者被害をなくす会とともに、消費者被害防止に取り組みました。なくす会は、サポーターの養成や研修・交流などを行ない、地域での見守り活動につなげています。サポーターは2019年度末で918人の登録となっています。

◆食の安全確保にむけて



埼玉県食品安全局との懇談会を埼玉県消費者団体連絡会として実施しました。CSF(豚熱)、食品衛生監視指導計画やHACCP(ハサップ)の取り組みなど埼玉県の施策をテーマに懇談しました。

◆第55回埼玉県消費者大会、 県内消費者団体研修会を開催



消費者大会記念講演ではSDGsについて、県内消費者団体研修会では、コミュニケーションスキルアップやプラスチック問題など、幅広いテーマで学習し、交流しました。

平和のとりくみ



◆埼玉県原爆死没者慰靈式、 平和のための埼玉の戦争展の開催に協力



「第34回埼玉県原爆死没者慰靈式」の開催に会員生協とともに協力しました。「2019 平和のための埼玉の戦争展」の開催にあたって、各生協からの分担金協力のほか、会場設営・受付スタッフとして運営を支えました。

◆ヒバクシャ国際署名の よびかけ



2018年度から継続してよびかけてきたヒバクシャ国際署名は、約2万筆を上乗せができ、累計約181,000筆になりました。

◆憲法についての学習会



第55回埼玉県消費者大会プレ学習会で、弁護士の伊藤真さんを講師に迎え、憲法について学習しました。

被災地・被災者支援



◆台風被害への被災地支援・支援物資の協力、 支援募金贈呈



台風19号による被害対応では、坂戸市の避難所への物資支援(copeみらい)、東松山市社協の要請に応え職員がボランティア支援(パルシステム埼玉)、事業所(病院内)での地域住民の避難の受け入れ(医療生協さいたま)、全国から職員が集まり被害調査や被災者対応(埼玉労済生協)などを行いました。

また、全国の生協・組合員から寄せられた台風19号被害緊急支援募金から、1,118万8,046円を埼玉県に寄付しました。

◆2019 コヨット in 埼玉を開催



埼玉県ユニセフ協会との共催、ボーイスカウト埼玉県連盟の協力で、福島の親子の保養などを目的としたコヨット in 埼玉を開催、ムーミンバーパークや鉄道博物館で13組30人の親子に楽しんでいただきました。

会員生協・準会員生協の紹介

地域生協

共同購入・宅配・店舗、その他エネルギー供給事業などの商品やサービスを提供しています。

生活協同組合コープみらい



近年の集中豪雨や台風被害、今後予測される首都直下型地震、加えて世界規模で猛威を振るう新型コロナウイルス。こうした困難に立ち向かいながら、「助け合いの組織」として安心してくらせる地域社会づくりに積極的に参画してまいります。

住所：さいたま市南区根岸1-5-5
組合員数：3,553,086人
事業高：3,945億5,546万円

生活協同組合パルシステム埼玉



パルシステム埼玉では、県内に配送センター8か所、組合員活動施設1か所を有しており、食の「安全・安心」と組合員一人ひとりの思いを大切に、地域に根ざした生協を目指しています。今後も生産者と消費者の信頼関係をベースに持続可能な社会づくりをすすめていきます。

住所：蕨市錦町2-10-4
組合員数：214,300人
事業高：280億1,810万円

生活クラブ生活協同組合



2020年3月に県内第1号のデポー（生活クラブのお店）が浦和にオープンしました。引き続き配達事業と共に食べ物（Food）、エネルギー（Energy）、福祉（Care）の地域自給をめざし、サステナブルな取り組みを進めています。

住所：さいたま市南区別所5-1-11
組合員数：33,099人
事業高：93億9,054万円

医療生協さいたま生活協同組合



一人ひとりが持つ「困った」に応える活動を始めました。11月の地域別総代会議では1092件の「困った」事例が出され、それらを9つのカテゴリーに分類しました。多くの人に共通する「困った」を「安心」に変えるために生協ができるることを今後模索します。

住所：川口市木曾呂1317
組合員数：231,638人 事業高：232億7,144万円

埼玉県勤労者生活協同組合



当組合は、共済事業・住宅事業を中心に地域密着型の業務を行っています。例年参加している福島復興支援「ひまわりプロジェクト」には、多数の組合員のご協力のもと継続7年目を迎えました。今後も組合員の声に耳を傾け、暮らしに貢献していきます。

住所：川口市本町4-2-3
組合員数：54,369人 事業高：2億4,968万円

会員生協の紹介

2019年度 会員生協

事業所数

県内各地に144カ所

宅配センター 35	病院（診療所含む） 14	その他本部
店舗 45	老人保健施設 2	など16
介護事業所 31	有料老人ホーム 1	

組合員活動施設数

組合員活動の拠点となる施設 56カ所
年間のべ164,882人が利用

埼玉県内の配達車両数

地域生協の配達のトラックは 1,620台
1日平均1,400台のトラックが県内各地で配達を行っています

子どものその保育生活協同組合



自然の中でからだを使って遊び、あたたかな人間関係の中で、子どもらしく生きることを大切にして保育を行ってきました。2015年4月に3歳児以上が認定こども園になりました。なお、今年度をもって2歳児保育は終了しました。

住所：ふじみ野市中福岡79
組合員数：908人
事業高：734万円

埼玉県労働者共済生活協同組合



当会は助け合いの生協として1964年3月に誕生。共済という「互いに助け合う仕組み」を通じて、理念である「みんなで助け合い、豊かで安心できる社会づくり」にむけ、皆さまへ安心をお届けしてまいります。

住所：さいたま市中央区下落合1050-1
組合員数：557,199人
事業高：2億3,777万円

さいたま住宅生活協同組合



住まいは「人権」を基本に、安心して住み続けられる住まいづくりを目指しています。年に1度、無料住宅診断を全組合員対象に実施し、2019年度の事業高は前年度比110%と組合員の信頼で大きく前進しました。

住所：さいたま市浦和区仲町2-10-12
組合員数：23,843人
事業高：7億2,332万円

大学生協

学生・教職員で組織され、食堂・書籍・共済などの事業をおこなっています。

埼玉大学生活協同組合



埼玉大学の魅力づくり、地域や環境への貢献に埼玉大学生協ならではの協力をしています。そして学生委員会による活気のある様々な取り組みなど、組合員一人一人の生活の充実と向上を図って活動しています。

住所：さいたま市桜区下大久保255

組合員数：10,982人

事業高：10億6,456万円

跡見学園女子大学生活協同組合



跡見では授業でプリントを配られることが多く、どう管理するのかが、学生の悩みとなっています。そこでCO-OP GIRLS(生協学生委員会)の先輩達が、自分たちのファイルの仕方をイラストや図にして説明しています。実際に大幅に購入する人がふえ、活気のある棚になりました。

住所：新座市中野1-9-6

組合員数：4,729人

事業高：2億9,658万円

大東文化学園生活協同組合



大東文化学園生協は、「生協をつくろう!」と教職員・学生の声から設立。昭和63年5月に板橋・東松山それぞれ別だった組織が合併しました。東松山カフェテリアでは、大学とすすめている「食育事業：朝ごはんプロジェクト」も10年目を迎え、現在は営業できていませんが、通常毎日平均で100名以上のご利用があります。

住所：東松山市岩殿560

組合員数：11,208人 事業高：5億7,900万円

十文字学園生活協同組合



「十文字学園女子大学と組合員に選ばれ、支持される生協を作ります」を基本方針に、理事会・職員・学生委員会が一体となり、様々な取り組みを行っています。

住所：新座市菅沢2-1-28

組合員数：3,415人

事業高：1億6,346万円

淑徳大学みずほ台生活協同組合



淑徳大埼玉キャンパスには2020年度、教育学部・経営学部の新入生355名が入学しました。小さなキャンパスですので、日常的なコミュニケーションを大事にして、組合員への貢献を行っています。

住所：入間郡三芳町藤久保1150-1

組合員数：1,230人

事業高：9,080万円

コープデリ生活協同組合連合会



コープみらいをはじめとするコープデリグループが掲げる、ビジョン2025「食卓を笑顔に、地域を豊かに、誰からも頼られる生協へ。」およびSDGsの実現に向け、事業と活動を通じて組合員のくらしに貢献してまいります。

住所：さいたま市南区根岸1-4-13

会員生協数：7会員

事業高：5,596億9,147万円 *事業高は会員事業高合計

準会員生協

東都生活協同組合



東都生協は「産地直結」。日本の農業を大切に考え、国産にこだわっています。生産者と手を携えて、将来にわたって食の安全を確保していくための「食の未来づくり運動」を進め、組合員のくらしに貢献してまいります。

住所：世田谷区船橋5-28-6

組合員数：6,019人

事業高：301億2,426万円

*組合員数は埼玉県内人數、
事業高は東都生協全体

協活動データより

生協のエネルギー供給事業

コープデリでんき、
パルシステムでんき、
生活クラブでんき
契約数 21,826件

コープデリガスの契約数 866件

介護保険事業などの利用者数

生協が行っている
介護関係事業の
利用者数
約77,000人

認知症サポーター養成

認知症を正しく理解するための
職員向け認知症サポーター
養成講座を4生協で実施

1,262人の職員が
認知症サポーターに登録

市民活動へのサポート

4生協が市民活動を
サポートする助成制度
をおこなっており、
2019年度は34団体に
612万円を助成

生活協同組合・さいたま高齢協



私たちは、高齢になっても、障害があつても、地域の中で、いきいきくらしていける地域づくりを目指します。そのためには地域の協同のネットワークが大切。微力ながら力を尽くしていきます。

住所：所沢市向陽町2001-3

組合員数：904人

事業高：9,217万円

協同組合がよりよい社会を築きます

生協とは

「生活協同組合」の略で、消費者一人ひとりがお金(出資金)を出し合い組合員となり、協同で運営・利用する組織です。

日本の生活協同組合の現況:全国の生協数は568、組合員数は2,924万人、事業高は3兆5,350億円、全国のほぼ3世帯に1世帯が生協の組合員世帯になります。

協同組合とは

生協(生活協同組合)も、数ある協同組合のひとつで、生協以外には、農業協同組合(農協)や漁業協同組合(漁協)、森林組合、事業協同組合、労働者協同組合、住宅協同組合、信用協同組合などがあります。

世界の協同組合の国際組織「ICA」には、世界109カ国から生協、農協、漁協、森林組合、労働者協同組合、住宅協同組合、信用協同組合など、あらゆる分野の311協同組合組織が加盟しており、組合員総数は、12億人を超える(2019年8月現在)。

1995年の100周年記念大会(イギリス・マンチェスター)で、協同組合の定義・価値・原則からなる「協同組合のアイデンティティに関するICA声明」が採択されました。この原則は、世界中のさまざまな協同組合の指針となっており、日本の生協もこの原則に基づき運営されています。

コープSDGs行動宣言

私たち生協は、SDGs(持続可能な開発目標)に貢献することを約束(コミット)します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

私たちは、「生協の21世紀理念(1997年総会決定)」のもと、助け合いの組織として、誰もが笑顔でくらすことができ、持続可能な社会の実現をめざし、様々な取り組みを進めてきました。

誰も取り残さないというSDGsのめざすものは、協同組合の理念と重なり合っています。私たちは、あらためて持続可能な社会の実現に向けて取り組むことを「コープSDGs行動宣言」としてまとめました。

私たち埼玉県生活協同組合連合会は、日本生活協同組合連合会や全国の生協とともに「コープSDGs行動宣言」の7つの取り組みをつうじて、世界の人々とともにSDGsを実現していきます。



持続可能な生産と消費のために、商品とくらしのあり方を見直していきます

私たちは、「つくる責任」と「つかう責任」の好循環を発展させ、持続可能な社会づくりをめざします。国内外の人々、そして限りある地球資源へ思いをはせ、商品の開発と供給を進めます。学習活動を通じて、エシカル消費や持続可能な社会に関する理解を促進し、私たち自らの消費行動やくらしのあり方を見直していきます。



地球温暖化対策を推進し、再生可能エネルギーを利用・普及します

私たちは、地球の持続可能性を搖るがる気候変動の脅威に対して、意欲的な温室効果ガス削減目標(2030年環境目標)を掲げ、省エネルギーと再生可能エネルギーの導入に積極的に取り組みます。再生可能エネルギーの電源開発や家庭用電気小売を広げ、原子力発電に頼らないエネルギー政策への転換をめざします。



健康づくりの取り組みを広げ、福祉事業・助け合い活動を進めます

私たちは、食生活、運動、社会参加の視点から健康づくりを進めます。安全安心はもとより、より健康な食生活に向けた商品事業と組合員活動を推進します。生活習慣病や介護予防など「予防」を重視し、福祉事業や助け合い活動を広げ、自治体や諸団体と連携し、地域包括ケアシステムのネットワークに参画します。



世界から飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動を推進します

私たちは、誰一人取り残さない世界をめざして、世界が抱える問題についての理解を深め、助け合いの精神を貫き、ユニセフ募金などに取り組み、世界の子どもたちを支援します。「貧困」の連鎖をなくしていくために、子どもの貧困について学び、話し合う活動を広げ、子ども食堂やフードバンク・フードドライブなどの取り組みを進めます。



誰もが安心してくらし続けられる地域社会づくりに参加します

私たちは、誰一人取り残さず、安心してくらし続けられる地域社会づくりに参画します。自治体や諸団体との連携を大切にしつつ、地域の見守り、移動販売や配食事業など、生協の事業や活動のインフラを活用し、地域における役割發揮を進めます。



ジェンダー平等(男女平等)と多様な人々が共生できる社会づくりを推進します

私たちは、地域における活動を通じて、社会のジェンダー平等と多様な人々が共生できる社会の実現に貢献します。女性も男性も、誰もが元気に、生きがいを持って働き続けられる生協づくりを進めます。



核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす活動を推進します

私たちは、「核なき世界」の実現のために、世界の人々と手を携えて、核兵器を廃絶し、平和な社会をめざす取り組みを進めます。私たちは、次の世代に被爆・戦争体験を継承し、日本国憲法の基本原則である平和主義のもと世界平和の実現に積極的に貢献します。